

12/26

## 松江歴史館 「連続テレビ小説『ばけばけ』の世界と 小泉セツと八雲の時代」



▲松江の寒い冬を過ごすための暖房具「夜着」と「湯たんぽ」



▲ドラマでヘブン（演：トミー・バストウ）と錦織（演：吉沢亮）が着用した衣装

松江歴史館で、企画展「連続テレビ小説『ばけばけ』の世界と小泉セツと八雲の時代」がはじまりました。本展は、ドラマを彩ったセットの再現や衣装のほか、モデルとなった小泉セツと八雲が生きた時代を歴史資料とともに紹介しています。

3月29日（日）まで開催。ぜひご来場ください！

主催：松江歴史館

詳細は  
こちら



ダイアリー

松江まちかど



松江市PRキャラクター  
おまっちえ

## 小泉八雲とセツの 面白エピソード

その5

～八雲とセツのちょっとしたエピソードをご紹介します～

### 小泉セツの本名は「節子」？

戸籍上の名前は「セツ」なのですが、せつ子、節、節子などと、本人が時と場合に応じて使い分けていたようです。セツが語り遺した『思ひ出の記』の著者名は「小泉節子」、八雲の親友・西田千太郎は日記に「セツ子氏」と書きました。一方、夫の八雲は「セツ」と呼び、たとえば日本に帰化する前に書いた遺言状では「Settsu」と綴っています。東京・雑司ヶ谷霊園に夫と並んで眠る墓碑には「小泉セツ之墓」と刻まれています。



〈雑司ヶ谷霊園の八雲とセツの墓碑〉

小泉八雲とセツに関する出前講座の申込受付中。詳しくはこちら▶



松江市ホームページ



防災メールに登録しましょう。  
QRコードを読み取って、  
空メールを送ってください。



商標について：QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

市報

松江

目次

- 02 2月11日は出雲そばの日
- 04 松江まちかどダイアリー／小泉八雲とセツの面白エピソード
- 05 松江市長 上定昭仁の「上を向いていこう」／まいぶんTIME
- 06 安居楽業／シリーズ松江の文化力×未来
- 07 松江の皆さんこんにちは。／マイレポート
- 08 市役所本庁の新しい駐車場がオープンします
- 10 松江市交通指導員を募集しています
- 11 消防団員募集中!!
- 12 所得の申告をお忘れなく!
- 14 子育て・健康・福祉
- 16 中国横断新幹線（伯備新幹線）ロゴマーク投票／令和7年度上期松江市公営企業の経営状況
- 17 情報ひろば
- 24 でかけてごしない～イベント情報～
- 26 原子力広報

松江市長 上定 昭仁 の

# 上を向いていこう

Vol.52



「松江は「出雲そば」

発祥の地です」



2月11日が「出雲そばの日」であることをご存じでしょうか。令和4年（2022年）1月、日本記念日協会が「そば商組合（松江市・出雲市）」からの申請を受けて、2月11日を「出雲そばの日」として登録しました。

「出雲そば」は、その呼称からお隣の出雲市に由来すると思われがちですが、江戸時代初期の寛永15年（1638年）2月11日、そば処・信州を治めていた松平直政公が出雲松江藩への国替えを命じられ、その後の松江城下で「そば切り」が振る舞われたことが史料に残っています。

したがって、岩手県の「わんこそば」「長野県の「戸隠（とがくし）そば」と並んで「日本三大そば」の一角を占める「出雲そば」の発祥は、松江ということになるのです。

しかしながら、それが思いのほか知られていない現状を打開し、市民のみなさんにも観光でいらした方々にも浸透を図るべく、令和5年（2023年）に本市独自のブランドそばの販売をスタートしました。その名も「松江松平そば」。地元産そばを使い、そば懷石を基本とする高級感のあるセットメニューが、松平家の正式な家紋が入った八雲塗の椀

で提供されます。現在、市内4つのそば屋において、天ぷらそばや山菜そばなど、店ごとに趣向を凝らした多彩な「松江松平そば」が楽しめますので、ぜひご賞味ください。

そもそも「出雲そば」の特長は、そばの実を殻ごと挽いて製粉し、つなぎに使う小麦粉も少ないため、黒っぽく豊かな風味とコシが味わえること。「割子そば」「釜揚げそば」といった食べ方も、私たちの地域に伝わる独特なものです。

伝統的な「松江の味」を次世代に引き継ぐべく努めてまいりますので、「出雲そば」「松江松平そば」を応援していただけますと幸いです。2月11日は、おそばを食べてみませんか😊



〈職員と仕事始めのそばランチ会〉

## まいぶんTIME

松江市の遺跡や出土品（埋蔵文化財）について紹介します

### Vol.27 田和山遺跡周辺の弥生時代の景観

市立病院の隣に今も残る田和山遺跡は、2000年以上前の環濠集落です。現在では付近に高速道路がとおり、大型店舗が建ち並んでいて、弥生時代の景観を想像することが難しくなっています。そこで、田和山遺跡と周辺の遺跡の発掘調査成果を考古学、地質学、古環境学から検討して、弥生時代の景観を復元しました。春には、AR（拡張現実）というデジタル技術によりその成果を山頂で体感できるようになります。皆さん、お楽しみに！



〈現在の田和山遺跡周辺の景観〉

どんな風景が広がっていたのかな？





地域おこし協力隊の

あん きょ  
**安居 楽業**  
らく ぎょう



〈市HP(地域おこし協力隊)〉

vol.8



## 木を楽しむ！松江暮らし

はじめまして、協力隊になって1年目の伊藤です！「木工」をキーワードに活動しています。私は松江市出身です。大学進学で県外へ出て、卒業後は歯科クリニックで虫歯や歯並びを治す仕事に就き、多忙ながらもやりがいを感じながら働きました。ある時一念発起して岐阜県の木工芸術スクールに入学し1年間基礎から木工を学びました。その後は静岡県の木工所へ就職し、家員職人として働いてきました。

「なぜ全く違う仕事に転職したの？」これまでに何度も聞かれた質問です。うまく伝えるのは難しい質問ですが、あえてひと言で答えるなら「一番大好きなことに人生の時間を費やしたい」と思ったからです。私は小さい頃から木工が大好きでした。「子が好きなきことを選び楽しく生きていることが親の一番の喜び」と、葛藤もあった私の背中を笑顔で押してくれた両親には、心から感謝しています。松江にUターンするのを機に、木工の経験を生かして地域活動をしたと考え、協力隊になりました。今その取り組みのひとつとしていろいろな木工体験を企画しています。小泉八雲の怪談をテーマにしたイベントでは、木でできたシートを怪談キャラのスタンプで飾りオリジナルカードを作るワークショップを行い、たくさんさんのこどもたちで賑わいました。



〈ワークショップの様子〉



〈木の花 体験作品〉

【この記事に関する問い合わせ】 定住企業立地推進課 ☎55-5215

伊藤 佐恵子  
いとう さえこ

## シリーズ「松江の文化力×未来」

松江の文化力の次世代を担う人を紹介します！

Vol.25



いとう 伊藤 圭祐  
けいすけ 圭祐

松江市出身。高校時代から演劇に興味を持つ。岡山よりUターンし、仕事をしながら、週末は劇団の活動に取り組む。



私が代表を務める「島根神在劇団」通称「シングキ」は、2023年から活動を続けています。現在は、松江在住者を中心に15人が在籍しており、その多くが学生時代に演劇を経験しています。島根県内にはいくつかの劇団がありますが、若い世代がより気軽に演劇に触れ、挑戦できる場所が欲しいという声が多くあり、そうした想いに応える形で新しい環境を立ち上げました。

「演劇」と一言で言っても、それに関わる人の役割はさまざまです。演者として舞台上に立ちたい人もいれば、裏方として作品づくりを支えたい人もいます。私自身は、役者だけでなく、劇団の脚本・演出も任されており、舞台の表と裏に立つ全員の持ち味を引き出しながら、お客様を惹きつける内容に仕上げていくことに悩みつつも楽しさを感じています。



〈島根神在劇団・公演の様子〉

【この記事に関する問い合わせ】 文化振興課 ☎55-5517 【島根神在劇団(シングキ)】 インスタグラムはこちらから→

オリジナル脚本で島根を発信

## 松江の皆さん こんにちは。



のりまさ  
原 克 則  
米

1980年6月生。松江東高校卒業後、大学進学を経て金融業界に約20年従事。現在は生命保険を通じ、人生設計や老後の安心づくりに携わっている。宝塚市在住。

私の松江の思い出は、大きく分けると幼少期と青年期にあります。

幼少期は、南田町で小学4年生（母衣小学校）まで過ごしました。父が県庁に勤めていたため、県職員住宅に家族5人で暮らしていました。敷地内には3棟の住宅が並び、同世代の子どもも多く、半徑百メートルほどの、ミクロな松江が、私の世界のすべてでした。

敷地内では鬼ごっこやボール遊び、自転車を取り回し、敷地を出れば空き地やドブもありました。毎日、日が暮れるまで子どもたちが声を上げて遊び、車にサッカーボールが当たったことも、バットで打ったボールが近所の庭に入ってしまったことも、行くことも日常でした。今思えば、大人たちはどんな思いで見守ってくれていたのだろうと、感謝の気持ちが湧いてきます。近くには「養益舎」という牛舎があ

り、そこで母によく買ってもらったコーヒーマルは、今も忘れられない味です。

その後、父の転勤で3年間出張で暮らし、再び松江へ戻りました。西津田の県職員住宅に住み、大学進学までを松江で過ごしました。松江東高校へ通うため、橋南と橋北を自転車で行き来する日々は、自然と、マクロな松江を身体に刻み込む時間でした。浪人時代に東高の補修科へ通ったことで、その思い出はさらに深まります。

よく足を運んだのが、学園通りにあったラーメン屋の「はなさか」です。野球部の練習後や浪人生の勉強帰りに通い、空腹を満たしてくれた、私にとっての大切な味でした（特に味噌ラーメン）。

養益舎も、はなさかも、今はもうありません。しかし、それらは今も私の記憶の中で、確かに息づいています。

近畿松江会にご入会ご希望の方はご連絡ください。

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町2-34 東洋軒ビル4階 竹谷設計事務所内 近畿松江会事務局 ☎090-3054-9159（竹谷）

## まちをよくする マイルレポート

## 美しい環境を次の世代に

まつえ環境市民会議事務局

山本 伸弥



マツエコちゃん

〈まつえ環境市民会議  
マスコットキャラクター〉

まつえ環境市民会議は、\*松江市環境基本計画の基本理念の実現をめざし「自然環境の保全」「ごみの減量」「地球温暖化防止」「環境教育の推進」の4つのテーマを柱に、市民・事業者・行政を連携させて、一人一人が身近な環境活動を実践するため、平成19年2月に設立されました。

4つのテーマのうち、「自然環境の保全」と「ごみの減量」に関わる活動については、会員や市民の皆さんへの地道な呼びかけなどにより、多くの方に参加していただけるようになり、きれいなまち松江を守ろうという意識の高まりを感じています。

一方で、「地球温暖化防止」の取り組みについては、それぞれの生活スタイルの変化を求めるものであり、一朝一夕に効果が表れるものではありませんが、市民会議創設当初から行っているグリーンのカーテン運動は、毎年公民館などを通じて行う16,000本のゴーヤ苗の配布からはじまり、フォトコンテストまで、事業として定

着しています。また、毎年夏休みには市内の全小学4年生を対象に省エネチャレンジシートに取り組んでもらっています。小まめに電気を消す、ご飯を残さず食べる、ごみを分別するなど、小さなことの積み重ねを誰もが心がけるようにすれば、大きなCO<sub>2</sub>削減に繋がっていくことを親子で学ぶ機会になっています。

※松江市環境基本計画基本理念「世界に誇る環境主都まつえ」



〈まつえ環境市民会議HP〉



〈第5回松江城探検ウォークラリー〉



〈グリーンのカーテン フォトコンテスト2025最優秀賞〉